

京都國道（十八號線）隧道の開通

内務省大阪土木出張所

老ノ坂、觀音峠隧道開通式舉行せらる

春雨煙り櫻花瞭亂の四月十一日京都府園部町園部公園に於て國道十八號線老ノ坂、觀音峠隧道開通式が舉行された。

今日の盛典を祝ふ幟幕や提灯などが賑やかに町々を色々、花火の音もポンポンと朗に響いた。會場には幟幕を張り廻らし、いとも壯嚴なる祭壇を設けあり定刻十一時高西内務省大阪土木出張所長司會の下に式典は始まり、鈴木京都府知事、内務省より土木局長代理として近藤事務官、貴衆兩院議員、大阪土木出張所及京都府市關係土木職員、京都府會議長、府會議員、京都市長、南桑田船井兩郡町村長、新聞記者等約四百餘名參列して嚴かに式は進められた。齋主府社摩氣神社上田社司以下神職並に來賓一同着席式典は壯嚴な

る奏樂裡に始まり修祓降神、獻饌（齋主祝詞奏上）齋主、祭主大阪土木出張所長京都府知事、内務省土木局長、京都國道改良事務所主任、京都府町村長會長、南桑田船井兩郡町村長代表、來賓總代の玉串奏奠、撒饌、昇神、型の如くあり、引續き内務省大阪土木出張所長の式辭京都府知事、京都府會議長、京都府町村長會長、南桑田船井兩郡町村長會長、來賓祝辭あり右畢りて直に園部公會堂に於ける宴席に臨む、知事の挨拶、來賓の謝辭あり、白布に掩れたる七列の卓子上には色彩麗しき和洋草花多數を配列し春光いと朗かに映え瓶酒折詰を開き紅裙達の酒間斡旋地方青年の手踊り、萬歳などあり興趣殊の外にて宴酣に午後三時盛會裡に幕を閉ぢた。

因に京都國道改良工事は昭和八、九兩年度に於て國直轄

の施行に係り昭和八年度は工費豫算六三九、〇〇〇圓を以て老ノ坂自乙訓郡大枝村大字沓掛至南桑田郡篠村大字王子間延長一、〇九〇米（内隧道二二五米）及觀音峠自船井郡園部町大字木崎至同郡竹野村新水戸間延長一、五六〇米（内隧道二四六米）の改良工事を施行し昭和九年度は工費豫算二一〇、〇〇〇圓を以て前年度施行區間に引續き老ノ坂側大枝村大字沓掛地内延長九〇〇米及觀音峠側園部町大字木崎地内延長一、五六四米の改良工事を施行し昭和十年三月竣工するに至つたものである。改良工事施行總延長は八、一一四米にして之が完成に依り京阪神三都と山陰地方連絡の捷路となるのみならず舞鶴要港及商港と相俟つて滿蒙貿易及軍事上其他に國家的重要性を加ふるに至れり。尙高西大阪土木出張所長の式辭並鈴木京都府知事の祝辭は左の通りである。

式辭

老ノ坂觀音峠隧道工事成り茲ニ開通式ノ式典ヲ舉グルニ方リ朝野貴顯ノ御來臨ヲ辱フシタルハ洵ニ欣幸トスル所ナリ抑々京都府内國道十八號線ハ南京阪神地方ト北日本海トヲ

連絡スル重要幹線道路ニシテ殊ニ滿洲國ノ新興ニ伴ヒ愈々滿蒙貿易其他ニ國家的重要性ヲ加フルニ至レリト雖モ本線ノ概不山間部ニ屬シ幅員狹少勾配亦急ニシテ殊ニ大峻坂タル老ノ坂觀音峠ノ二大難關ハ迂餘曲折甚ダシク交通運輸ヲ阻害シ就中老ノ坂既設隧道ノ如キハ規模過少構造亦不完全ニシテ自動車ノ交通ハ勿論人馬ノ通行スラ危険且困難ヲ感ズル實狀ナリシヲ以テ之カ改良ハ國家的見地ヨリシテ最喫緊事ナリトシ國直轄ノ下ニ昭和八年四月工ヲ起シ同年度ハ工費六十三萬九千圓ヲ以テ老ノ坂及觀音峠ノ隧道ヲ開鑿並ニ其前後道路ノ改良工事ヲ施行シ昭和十年三月全ク竣工セリ而シテ同九年度ハ工費二十一萬圓ヲ以テ前年度施行區間にニ引續キ工事ヲ施行シ一少部分ヲ殘シテ其完成ヲ見タリ乃此二ヶ年ヲ通ジ工費總額八十四萬九千圓改良總延長八千百十四米内老ノ坂隧道二百二十五米ニシテ幅員ヲ五米五十トシ、觀音峠隧道ハ二百四十六米ニシテ幅員ヲ七米五十トナシ其ノ前後道路ハ老ノ坂側二千七百六十五米觀音峠側四千八百七十八米計七千六百四十三米ニシテ幅員ヲ總七米五十

トシ出來得ル限り勾配並ニ屈曲ノ緩和ヲ計リ路面ハ隧道ヲ
膠石鋪装トシ其ノ他ハ砂利敷トセリ

而シテ之ガ工事ニ使役シタル人員ハ實ニ三十三萬三千九百
十六人ニ及ビ失業並ニ農村救濟ノ一助トセリ本工事ノ竣工
ニ依リ京阪神地方ト山陰地方トノ距離ヲ短縮シ一般交通運
輸ニ著シキ利便ヲ加ヘ地方ノ開發産業ノ進興ハ固ヨリ國防
ノ充實經濟界ノ振展ニ寄與スル處蓋シ甚大ナルモノアルヲ
信ジ欣懐カク能ハザルナリ本隧道ハ相當難工事ナリシニ拘
ラズ恙ナク之ガ完成ヲ見タルハ一重ニ神明ノ加護ト地方官
民各位ノ絶大ナル援助並ニ從務者諸君ノ獻身的努力ニ外ナ
ラズ茲ニ謹ミテ感謝ノ意ヲ表ス

希クハ將來之ガ維持ヲ怠ラズ益々愛護利用ニ努メ以テ永遠
ニ其ノ使命ヲ全フセシヲラレンコトヲ一言以テ式辭トナス

昭和十年四月十一日

内務省大阪土木出張所長 高 西 敏 義

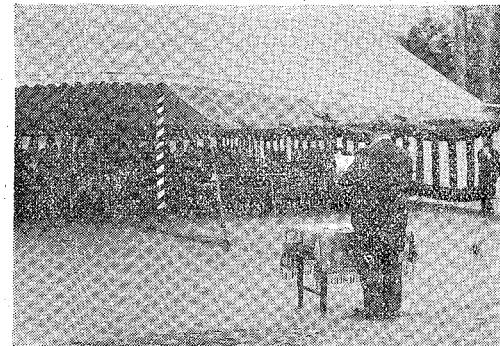
祝辭

老ノ坂及ビ觀音峠ハ國道第十八號線ニ於ケル二大難關ニシ

テ之ガ改修ハ府民ノ久シク翫望セル所タリ府ハ曩ニ京阪間
並ニ京津間ノ道路改良ノ後ヲ承ケ京都市ヨリ府下樞要地ニ達
スル路線及ビ之等樞要地ヨリ更ニ隣接府縣ノ樞要地ニ達
スル路線ニ付所謂幹線道路改良計劃ヲ樹テ之ト共ニ他方國
道ニ對シテハ專ラ國ニ於テ之ガ執行ヲ申請スル所アリ殊ニ
兩峠ノ峻岨ハ交通上ノ不便多大ナル上ニ多額ノ工費ヲ要ス
ルモノアルヲ以テ一層其ノ痛切ナルヲ懇ヘタルニ内務當局
ハ幸ニ之ヲ時局ニ關スル對策事業ノ一トシテ容レラレ大阪
土木出張所管掌ノ下ニ起工セラルニ至レリ本工事着手以
來二年今ヤ全ク其ノ工ヲ竣リ茲ニ開通ノ式典ヲ舉行セラル
ルハ寔ニ慶賀ニ堪ヘザル所ニシテ内務當局ノ莫斷ト大阪土
惟フニ道路ハ交通機關ノ主體ニシテ之ガ整齊ハ地方文化ノ
進展産業開發ノ根基ヲ爲ス今ヤ本工事ノ完成ニ依リ京阪地
方ト兩丹地方間ノ交通上ニ於ケル二大障壁除去セラルニ
至ル蓋シ府下産業ノ開發ニ大ナル寄與貢献ヲ齎ラスノミナ

ラズ延テ地方道路ノ
改良ヲ促進スルノ契
機トナリ其ノ利福ノ
及ブ所測リ知ルベカ

行に係り昭和八年度は工費豫算六三九、〇〇〇圓を以て老
の坂（自乙訓郡大枝村大字沓掛間延長二、〇九〇米）及觀音峠
(自船井郡園部町大字木崎至同郡竹野村新水戸間延長二、五六〇米) の改良工事を施
し昭和十年三月全く竣功せり。



京都府知事
鈴木信太郎
内務省大阪土木出張所
クハ府民一般之ガ利
用ヲ十分ニシテ益々
地方ノ發展ヲ計リ以
テ本道路改修ノ効用
ヲ完フシテ遺憾ナカ
ランコトヲ聊カ所懷
ヲ述べテ祝辭トス

昭和九年度は工費豫算二一〇、〇〇〇圓を以て前年度施
行區間に引續き老の坂側大枝村大字沓掛地内延長九〇〇米
及觀音峠側園部町大字木崎地内延長二、五六四米の改良工
事を施行し大體竣工せるも昭和九年九月の風水害の影響を
受け之が復舊手直し等の爲一小部分を昭和十年度に繰越す
の止むなきに至れり、而して改良工事施行總延長は八、一
一四米にして之が完成に依り交通の刷新運輸の利便に一大
進展を來せり。

昭和十年四月十一日

工事概要

京都府知事 鈴木信太郎
内務省大阪土木出張所

京都國道改良工事は國直轄の下に昭和八、九兩年度の施

工事の重要幹線道路にして近年京阪神間の國道の改善は惹いて
三都と山陰地方連絡の捷路となるのみならず舞鶴要港及商
港と相俟つて満蒙貿易及軍事上其他に國家的重要性を加ふ
るに至れりと雖も本線は概ね山間部に屬し幅員狹少勾配急

峻にして殊に老の坂並觀音峠の二大難關は迂餘屈折甚だし
く加之舊隧道は規模過小構造亦不完全にして交通運輸を阻
害すること甚大なるを以て之が改良は國家的見地よりし
て最喫緊事に屬するが故に先づ前記老の坂及觀音峠の改良
工事を施行せられたるものなり。

二、改良計畫の大要

一、老の坂

老の坂は丹波山城兩國境に跨り峠は海拔二二〇米餘にし
て京都府乙訓郡大枝村より同南桑田郡篠村に至る約五、〇
〇〇米は全く山間の溪流に沿ひ舊道幅員五、五米に過ぎず
山城側は勾配二十分の一内外にして幾多の小屈曲連續し見

透し不充分にして最小屈曲半徑實に十一米に足らざるもの
あり丹波側又最急勾配十五分の一平均勾配十九分の一曲線
半徑七、三米の肱曲あり更に時に存する延長一八三米の隧
道は有效幅員僅かに四・三四米高四・三米に過ぎず且漏水著
しく從つて自動車摺違ひの通行不能なるのみならず路面不
完全にして人馬の交通すら甚だ困難なるが故に之れを捨て

此の北側に並行して新隧道を掘鑿し幅員を五・五米高を五
米とし拱は岩質に應じ混凝土塊一枚乃至四枚巻側壁は場所
打混凝土を施し路面は膠石鋪裝を用ひ以て自動車の摺違ひ
の完全を圖り前後の道路は可及的曲線半徑を大にし突出部
の切取を行ひて見透し距離の増大を計り又有効幅員は七・
五米とし左右それぞれ路肩〇・五米を施し全幅員を八・五米
とす其の縦斷勾配を丹波側は從來より緩になし十八分の一
とし山城側は大略現在縦断勾配に倣ひ最急二十分の一とす
又王子橋は舊來の石拱橋を存置し橋面を一米上昇せしめ且
幅員を増大して有効六米（元五・一二米）とせり。

二、觀音峠

京都府船井郡園部町より同郡竹野村に至る間は海拔二二
五米の峠にして幅員五・五米なるも平均勾配十八分の一最
急勾配十四分の一にして最小半徑一米に足らざるものあ
り急坂屈曲相連續し見透し悪く交通上甚だ困難なるものあ
るを以て現在峠の南側に新に二〇米低下し新隧道を掘鑿し
て勾配の緩和を圖り最急勾配を二十分の一となし曲線半徑

を大とし見透し距離の増大を圖り又有効幅員は老の坂と
同様七・五メートルとし全幅員を八・五メートルとせり、新設隧道は幅員
七・五メートル延長二四六メートル高五・五メートルにして拱は岩質により三枚
乃至四枚巻側壁は場所打混凝土とし路面は膠石鋪装とす。

三、工事概要

種 別 老ノ坂 觀音崎 計 備考

一、工事費豫算 三九六,000圓 四七一,000圓 八九,000圓

二、施工延長 二,九〇米 五、二四〇米 五、二四〇米

内 隧道 二,七五〇米 二,七五〇米 二,七五〇米

三、幅員 二,七五〇米 二,七五〇米 二,七五〇米

内 道路 七・五メートル 七・五メートル 七・五メートル

内 隧道 五・五メートル 七・五メートル 七・五メートル

内 道路 七・五メートル 七・五メートル 七・五メートル

四、縦断勾配 大分ノ一 二十分ノ一 五十分ノ一 三百二十分ノ一

五、横断勾配 最緩勾配 五十分ノ一 二十分ノ一 二十分ノ一 同上

隧道 地盤ノ拋物線形 同上

道路 千分ノ一拋物線形 同上

路面鋪装 膠石 同上

隧道 砂利敷 同上

延人員 二十四、四三人 二九、七三人 三三、九六人

八、隧道標高(東京灣中等潮位を基準とする)
老ノ坂隧道東口 二三〇・七〇米

觀音崎隧道中央 二六二・九〇米

步車道の
區別なし
上

四、改良の效果

本工事の竣工により一般交通運輸に著しき利便を與へ山

陰地方及京阪神に莫大の利益を與へたる識者の認むる所に
して工事着手前後の實驗に徴するも自動車所要時間の短縮
は老の坂に於て十分觀音崎に於て二十分を示す以て其の一
斑を知るに足るべく從て將來の交通量の増大期して待つべ
し。